



2025年10月号

このメールは、組合員、賛助会員、及び配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

※このメルマガは目次に記載された順に記事が掲載されております。記事本文につきましては下方にスクロールしてお読みください。

CONTENTS

1. 全部協活動報告

- 1) 地方理事会を札幌で開催

2. 支部・ブロック協議会活動報告

- 1) 東北ブロックが役員会開催

3. 自動車業界のニュース

- 1) 「ジャパンモビリティショー2025」10月31日から一般公開
- 2) 大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン
- 3) 2025年度上半期の人手不足倒産過去最多に
- 4) 日本自動車会議所が2026年度税制改正要望をとりまとめ

4. 統計情報

自動車販売統計

整備工場統計

5. 事務局からのお知らせ

- 1) 令和7年度「基礎統計・取引実態調査」にご協力をお願いします
- 2) 第13回オンラインプロモーションを実施します
- 3) ショーワグローブ（株）「メカニクスギア」キャンペーン実施中です
- 4) 福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」取次ぎを開始しました
- 5) 代表者等に変更のあった場合のお願い
- 6) 「WEB共通互換品番検索システム」ご相談窓口を開設しました
- 7) 全部協の共同購買・あっせん事業をご利用ください
- 8) 日本フィルターエレメント工業会とエアフィルター販売促進で協力しています
- 9) WEB共通互換品番検索システム Google Chrome版のご案内

6. 全部協会議・活動日程

7. メルマガ配信アドレス登録のお願い

8. 付録

- 1) 「Zen-bukyo Toolモール」 利用のQ&A
- 2) メルマガ添付版：デッドストック部品運用ガイドライン
- 3) リパーツダイレクトの広告
- 4) その他の広告リンク
 - ・ 株式会社AAC

1. 全部協活動報告

※各委員会・会議の詳細は、全部協ホームページの組合員ルームに掲載される議事録をご確認ください。

1) 地方理事会を札幌で開催



全部協は10月8日、札幌市の札幌パークホテルで「第72回定例理事会」（地方理事会）を開催し、理事のほか北海道支部の組合員らが参加しました。理事会では次期役員改選スケジュール、令和7年度「基礎統計・取引実態調査」アンケート項目および東海支部の設置申請を承認しました。また来年度の地方理事会開催地について審議した結果、石川県金沢市で開催することと決定しました。併せて各委員会の活動や総代選挙告示等についても報告しました。

議事終了後は、（株）ブロードリーフ組織人材戦略室上席室長の伊藤豪浩氏による講演「変化の時代を勝ち抜く人材戦略 ～自社の未来を支える採用と定着を考える～」が行われました。

併催企画の商品・システム展示会には賛助会員等10社が出展し、参加した組合員に商品・サービスをPRしました。



(左上) 挨拶する森川理事長（左下）ブロードリーフの伊藤上席室長による講演（右下）商品・システム展示会で出展企業から説明を受ける参加者

2. 支部・ブロック協議会活動報告

1) 東北ブロック協議会が役員会開催

全部協・東北ブロック協議会は9月29日、仙台市のリッチモンドホテルプレミア仙台駅前で役員会を開催しました。役員会では全部協活動報告をはじめ地方理事会等の決算、各委員からの近況を報告したほか、総代の選出について協議しました。また純正部品販売会社による仕切り価格変更に関し情報交換しました。

3. 自動車業界のニュース

1) 「ジャパンモビリティショー2025」10月31日から一般公開

（一社）日本自動車工業会（自工会）は、「Japan Mobility Show 2025(ジャパンモビリティショー2025)」を10月31日～11月9日まで東京都江東区の東京ビッグサイトで一般公開します（10月30日は特別招待日）。「東京モーターショー」から名称変更して2回目の開催となる「ジャパンモビリティショー2025」は、国内外の自動車メーカー（乗用車メーカー15社、商用車メーカー7社）や自動車部品メーカー、さらにIT・通信・エレクトロニクスなど過去最多となる500以上の企業・団体が参加します。

期間中は「FUTURE」、「CULTURE」、「CREATION」の3つのキーワードからなる主催者プログラムのほか、軽トラ市やはたらくクルマの展示、小学生を対象とした仕事体験等、「モビリティがもたらす明るい未来」を体感していただける多数の企画を提案します。

2) 国土交通省が大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン実施

防ごう 大型車の車輪脱落事故



おとさめ
のための
点検整備

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ唯一かつ最善の手段です。



さびたカッパは
清掃交換

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、
ハブの取付面、ホイールボルト、ナットの鏝やゴミ、追加
塗料などを取り除きます。



いちにち一度は
ゆるみの点検

運行前に特に脱落が多い
左後輪を中心に、ボルト、ナットを
目で見て手で触るなどして点検します。



トルクレンチで
適正締付

適正なトルクレンチによる
規定トルクの締め付け、
タイヤ交換後の増し締めの実施。



ナット・ワッシャー
隙間に給脂

ホイールボルト、ナットのねじ部と、
ナットとワッシャーもすき間にエンジンオイル
など指定の潤滑油を薄く塗布し、
⑩ 転がせて油をなじませてください。

⑤ くりおき金庫



詳しい情報は日本自動車工業会ホームページへ
http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/

[illegible]

大型車の冬用タイヤへの交換時期に車輪の脱落事故が増加する傾向を踏まえ、国土交通省はタイヤ脱着時の確実な作業および保守管理の徹底を呼びかける「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を10月から令和8年2月まで実施します。

キャンペーン期間中は適切なタイヤ脱着作業や保守管理の徹底を周知するほか、不適切な脱着作業を防ぐため余裕をもって正しい脱着作業を行えるよう、冬用タイヤ交換作業の平準化を推進します。

3) 2025年度上半期の人手不足倒産過去最多に

(株) 帝国データバンクによると、従業員の退職や採用難、人件費高騰等を原因とした人手不足倒産は2025年度上半期(4月～9月)に214件となり、上半期としては3年連続で過去最多を更新しました。

業種別にみると、軽貨物を含めたトラック運送業を指す「道路貨物運送業」が33件で前年同期から14件増加しました。ドライバー不足により受注減を余儀なくされ、人件費の高騰が続く中、人材確保が追いつかずに事業が存続できなくなるケースが相次ぎました。

その他には老人福祉事業、労働者派遣業といった労働集約型のサービス業で人手不足倒産が増加しています。2025年度における最低賃金の改定額が過去最高の上昇幅となる中、賃上げ余力に乏しい中小・小規模事業者を中心に今後も人手不足倒産は高水準で推移することが懸念されます。

4) 日本自動車会議所が2026年度税制改正要望をとりまとめ

(一社) 日本自動車会議所は、全部協を含む自動車業界団体38団体が記名した「2026年度(令和8年度) 税制改正等に関する要望書」を取りまとめました。

2026年度の要望書では「(1) 内需拡大のためにも環境性能割は単純廃止」「(2) ガソリン税・軽油引取税の暫定税率廃止の代替財源について、車体課税への付け替えやユーザー負担増につながることは絶対反対」「(3) 自動車重量税にも暫定税率は存在しており、保有課税改革の中で廃止すべき」の3点の重点要望項目を前提に、ユーザー負担軽減と新たなモビリティ社会を踏まえた公平・簡素な自動車税制の改革実現を求めています。今後は国会議員や関係省庁らに要望書を提出し要望活動を行っていきます。

4. 統計情報

国土交通省

認証・指定工場数及び新規・廃止状況(速報)

優良認定工場数(速報)

(一社) 日本自動車販売協会連合会

ブランド別新車販売台数確報 2025年9月

(一社) 全国軽自動車協会連合会

2025年9月軽四輪車新車販売台数確報

5. 事務局からのお知らせ

1) 令和7年度「基礎統計・取引実態調査」にご協力をお願いします

全部協は毎年恒例の「基礎統計・取引実態調査」を今年度も実施します。組合員の皆様へはアンケート調査票を郵送でお送りしております。アンケートの回答締切は11月7日(金)です(必着)。業務ご多忙のところ誠にお手数ですが、趣旨をご賢察のうえアンケートへのご回答をお願いいたします。

2) 第13回オンラインプロモーションを実施します

取引先からの未入金を 回収するには？

今の時代に必要な 債権回収ノウハウ

2025 **10.28** (火) 16:00~17:00

会場

ZoomID および資料は27日(月) 配信

「オンラインのZOOMにて配信」

※ご視聴の皆様のお顔は見えない設定です。



登壇者

株式会社ラクーンフィナンシャル
審査部 債権管理チーム チームリーダー

舘澤 徳夫

こんな方におすすめ

✓ 取引先の未入金を
経験したことがある

✓ 取引先の
未入金が怖い

✓ 債権回収業務を
初めて行う

✓ 債権回収業務に
課題を感じている

プログラム

1. 会社概要

2. 直近の
倒産動向

3. 取引先の
未入金に
気が付いたら

4. 未入金回収の
ための
4ステップ

5. 債権回収の
問題点

6. 売掛金に
保証をかける
という選択肢

未入金対策は日頃の備えが大切、
今だからこそ知りたい
債権回収ノウハウを徹底解説。

本セミナーでは、未入金となった売掛金の効果的な回収
方法と、未入金を未然に防ぐ予防策について、債権回収
のプロが徹底解説します。日頃の備えを万全にし、安心
してビジネスを続けるためのノウハウをお伝えします。



お申込みはこちら

[https://raccoon.zoom.us/webinar/register/
WN_q6w5xLfDSve8ngEpawVGAQ](https://raccoon.zoom.us/webinar/register/WN_q6w5xLfDSve8ngEpawVGAQ)

申込 締切

10.27 (月) 10:00

本オンラインプロモーションに参加申込みいただく場合は、参加者所属事業所名、
御氏名、メールアドレスが説明者に告知されることを承認したものとさせていただきます。

全部協は、10月28日に第13回オンラインプロモーションを実施します。今回は(株)ラクーンフィナンシャルによる「取引先からの未入金を回収するには？ 今の時代に必要な債権回収ノウハウ」をテーマに、未入金となった売掛金の効果的な回収方法や予防策について解説します。

◎第13回オンラインプロモーションチラシ

3) ショーワグローブ(株)「メカニクスギア」キャンペーン実施中です



全部協の共同購買サイト「ZEN-bukyoモール」で、10月1日から12月31日までショーワグローブ（株）「メカニクスギア」（販売元・（有）池田ゴム）のキャンペーンを実施しています。

「ZEN-bukyoモール」に掲載されているショーワグローブ（株）のニトリルゴム製作業用手袋「メカニクスギア（50枚入、通常価格1函1100円）」を、特別価格1函950円で販売いたします。詳細は下記のキャンペーンチラシ、価格表等をご覧ください。

◎「メカニクスギア」キャンペーンチラシ

◎キャンペーン価格表

4) 福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」取次ぎを開始しました

全部協は、このほど組合員の皆様の福利厚生充実を目的に、第一生命保険(株)のグループ企業である(株)ベネフィット・ワンの総合福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」の取次ぎを開始しました。

「ベネフィット・ステーション」は団体保険の付帯サービス「DL Benefit Premium」の内容が拡充されたもので、お申込みいただいた組合員の経営者、役員、社員及び二親等以内のご家族が飲食店や映画館、レジャー施設、ショッピングサイトをはじめ、健康支援、教育・研修支援といった140万以上の様々なサービスを割引でご利用いただけます。

また、会社が負担した入会金・月額料金は法人にあっては全額損金算入、個人事業主にあっては全額必要経費に算入できます。

福利厚生の拡充や人材確保、社員のスキルアップなど、多方面で役立つサービスとなっておりますので是非ご活用ください。サービス内容、利用料金等については下記URLからパンフレット類をダウンロードしてご覧ください。

※団体定期保険・新医療保障保険に未加入の組合員の方もお申込みいただけます。

◎「ベネフィット・ステーション」資料・説明申込書

※入会希望または詳細説明をご希望の方は『ベネフィット・ステーション説明申込書』に記入のうえ、全部協事務局まで送付願います。第一生命保険(株)の担当者からご説明いたします。

5) 代表者等に変更のあった場合のお願い

組合員の皆様へのお願いです。代表者や本社住所等、全部協にご登録いただいている情報に変更のあった場合は、早急に全部協事務局までご連絡のうえ、変更届を全部協までお送りください。各種変更届の様式は、全部協ホームページ内「各種申込関係」のページからダウンロードできます。何卒よろしくお願い申し上げます。

6) 「WEB共通互換品番検索システム」ご相談窓口を開設しました

全部協は「WEB共通互換品番検索システム」専用のご相談窓口を開設いたしました。互換品番検索システムをご利用中に不具合等のあった場合は下記までご連絡ください。

株式会社クレイドルボックス

電話：0277-46-9876

メールアドレス：support@cradlebox.co.jp

お問い合わせ対応時間：月～金 9時～17時

※土・日・祝日、夏期休業、年末年始休業期間はサポート対象外となります

※夏期休業、年末年始休業の期間は全部協ホームページにてお知らせいたします

上記へお問い合わせの際は「WEB共通互換品番検索システムについて」とお伝えください。

お電話は混み合う場合がありますのでメールでのご連絡をお勧めいたします。メール確認

後、必要に応じてメールまたはお電話いたします。予めご了承ください。

また、お電話でのお問い合わせの際には発信者番号の通知をお願いいたします。

7) 全部協の共同購買・あっせん事業をご利用ください

全部協では組合員の皆様の事業活動を支援するため、共同購買サイト「ZEN-bukyoモール」、「ZEN-bukyo Toolモール」を通じた共同購買事業およびあっせん販売事業を行っています。

共同購買事業の取扱商品については、「ZEN-bukyoモール」、「ZEN-bukyo Toolモール」から、あっせん販売商品については全部協ホームページの組合員ルームからご確認ください。お得に購入できる商品が多数掲載されておりますので積極的なご利用をお願いいたします。

8) 日本フィルターエレメント工業会とエアフィルター販売促進で協力しています

全部協は、日本フィルターエレメント工業会が展開しているエアフィルターの販売促進活動に協力しています。

日本フィルターエレメント工業会では、エアフィルターの素材が不織布中心となっていることによりエアブロー清掃の効果が限定的であること、エアフィルターの汚れがエンジンや燃費に及ぼす悪影響等を広く周知し、適正な交換を呼びかける取り組みを進めています。全部協でも、定期交換の重要性や適正な交換目安について組合員や得意先に広く周知・啓発し、潜在需要を掘り起こすことでエアフィルターの販売拡大につなげられるとして、同工業会や卸商社と連携し販促活動を進めています。

◎エアフィルター交換促進チラシ（日本フィルターエレメント工業会製作）

エアフィルターは、
適正に交換しましょう！



新品のエアフィルター



ろ材が汚れを
しっかりキャッチ
しています

使用後のエアフィルター



エアフィルターには「**性能期限**」があります

エアフィルターの交換時期は、車の利用環境や利用頻度によって大きく異なりますが、走行を続ければ確実に汚れるので定期的な点検と交換が必要です。

交換の目安は**4～5万km**毎
(シビアコンディションの場合は2～2.5万km毎)

※詳しくは整備手帳をご確認ください

⚠ エアブローの清掃では、ろ材に
こびりついた汚れは吹き飛ばせない
ので交換しましょう！

交換時期をむかえたエアフィルターは**新品に交換**しましょう！

日本フィルターエレメント工業会
協力 全日本自動車部品卸商協同組合

9) WEB共通互換品番検索システム Google Chrome版のご案内

全部協はWEB共通互換品番検索システムのGoogle Chrome版をリリースいたしました。ご利用の組合員は、下記URLから利用手順をご確認いただきGoogle Chrome版をインストールしてください。互換品番検索システムご利用のすべての端末（PC）で同様の操作が必要です。複数の拠点でご利用の場合は下記の利用手順書を各拠点で共有いただけますようお願いいたします。

◎Google Chrome版互換品番検索システム手順書

6. 全部協会議日程

全部協会議・活動日程につきましては、下記のリンクをご覧ください。

2025年度会議・活動日程

7. メルマガ配信アドレス登録のお願い

このメルマガは、組合員、賛助会員の配信希望登録をいただいた組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆様にお送りしております。

配信をご要望の場合は、全部協ホームページからメルマガの配信登録をお願いいたします。組合員と賛助会員以外の方は、事務局にて確認のうえ、配信の取り計らいをさせていただきます。

8. 付録

1) 公式LINEお友達募集中です

- 2) [「ZEN-bukyoTool モール」利用のQ&A](#)
 - 3) [デッドストック品掲載ガイドライン](#)
 - 4) [「リパーツダイレクト」広告【PDF】](#)
 - 5) その他の広告リンク
[株式会社AAC](#)
-

本メールマガジンへのご意見、ご感想、お問い合わせ

全日本自動車部品卸商協同組合事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-4-2 商工会館ビル6階

Copyright (C) 全部協事務局

[お問い合わせ](#) [配信停止](#)